

か け は し

2021
第12号



札幌市東区生活支援体制整備事業 広報誌

令和3年10月29日（金）、東区民センターにおいて「ボランティアサロン」が開催され、各種ボランティア活動者が横のつながりを深めました。

今回は「コロナウイルスをよせつけない！！～感染対策の基本」という研修を受講し、日常生活やボランティア活動にも役立つ感染対策の基本を学びました。

講師である医療法人社団豊生会東苗穂病院 感染管理認定看護師の三島様から、「うつらない！うつさない！広げない！」ことが重要であること、また実技として手指消毒の正しい方法を実際に体験しました。

「生活支援ボランティア タッピー」のメンバーも参加し、安全安心に活動ができる知識や情報を深めるよい機会となりました。

参加者からは「専門家から正しい方法が聞けて良かった」「正しく恐れることが大切」など多くの感想が出ていました。



うつらない！
うつさない！
広げない！

重要！



お知らせ



地域のみなさんを対象に、ソフトバンクから講師をお呼びしての出張スマホ教室を、無料で開催することが出来ます。（開催場所は受講者側で確保が必要となります。）開催を希望される場合は、生活支援コーディネーターが調整を行いますので、お気軽にご連絡ください。

東区社会福祉協議会 生活支援コーディネーター 電話 011-741-6440

対象者：地域団体（福まち、町内会）やボランティアグループ、サロン等

定員：最小5名～最大20名

メニュー：（1）はじめて編 （2）活用編

※スマホの貸出あり。持っていない方の参加も歓迎です。



つながいの木と共に思いが育っていきました！（栄西地区）

令和3年10月12日（火）～15日（金）、栄西地区福まち主催の「福祉マップ更新会」が開催され、コロナ禍の今だからこそマップをきちんと更新しよう！最新情報を共有しよう！と地域みなさんが集まりました。同日開催した2層コーディネーター企画のお楽しみイベント「栄西つながいの木 2021」も無事に終了し、最終日には137のメッセージやイラストでにぎやかな木が育ちました。

このイベントは葉や花の形のカードにそれぞれの想いを書き、紙に貼ることでその場にはいない方にも気持ちや思いを伝え、そのメッセージを読むことでみなさんの想いを共感できるようになっています。「みんなで集まりたい！〇〇したい！」など交流に関するものや、「顔が見たい。どうしているのかな」と周囲を気にかける内容も多く、みなさんの日頃の関係性の良さや多くの方が交流を求めているということも、これらのメッセージから伝わってきました。

早くみんなと乾杯
したいなあ



密になってご飯が食べたい！



※メッセージの一部をご紹介します

新着メッセージ



また、11月10日（水）には、この「つながいの木イベント」のメッセージを共有し、栄西地区でつながりや交流をより一層深めるにはどうしたらよいのか？というテーマで意見交換を行いました。今すぐできそうな事、これから実行できそうな事として、**挨拶や声かけをしっかりと**やって行こうという意見や、高齢者だけでなく**地区のみんな（多世代）を巻き込もう**、交流を深めるために**話し合う機会を持つ**など、色々な意見が出されました。

大切にしてきたつながりを絶やさないように、また顔見知りを増やし交流を深めていく重要性を感じておられるみなさんと、これからも継続してこのような話し合いを続けていきたいと考えています。

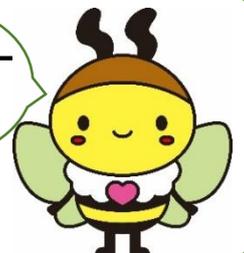
札幌市生活支援体制整備事業のイメージキャラクターを紹介します

名前：「さぼっちー」（「サポート」＋「はち」）

キャッチコピー：みんなの想いをつなぐよ。

これからも、生活支援コーディネーターともどもよろしくお願ひいたします。

さぼっちー
です！



発行・お問い合わせ先 札幌市東区社会福祉協議会 電話 011-741-6440

〒065-8612 札幌市東区北11条東7丁目1-1 東区民センター1階

第2層生活支援コーディネーター 熊谷（栄西、栄東、丘珠地区担当）

